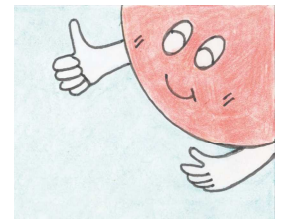


ソーラーシェアリングの 落合農園だより -その17- 2020, 6, 21

◆落合農園の紹介

農地の上にソーラーパネルを設置し、発電と営農を分かち合う(シェアする)厚木市初のソーラーシェアリングの農園です。一般社団法人あつぎ市民発電所とともに、農業振興と再生可能エネルギーの普及を目指します。無農薬で化学肥料も最小限(いずれは不使用も)という安心安全な農産物を栽培します。皆様ぜひお買い求めください!農園のご参観も大歓迎です!

農園主 落合清春 080-5091-8844 メール koshun@live.jp
場所 厚木市飯山885-1
県道厚木清川線 バス停「ゴルフ場入口」から厚木方面に戻り、徒歩1分 右側



あつぎ市民発電所オリジナルキャラ
ひまりんちゃん
(上)
ソーラ-君(右)



◆トピックス

●共生について



ハマスゲ(細長い葉で、根が強く張って抜きにくい!繁殖力旺盛!)という植物の中にコマツナとレタスが育っています。肥料は完熟鶏糞(窒素、リン酸、カリウムの3大栄養素がバランスよく入っているとされています)しかやっていませんが、ハマスゲに負けず、コマツナもレタスも思いの外元気です。味も悪くないです。これはひょっとしたら、植物同士が共生しているのではないのでしょうか。私達はどうかすると1種類の作物を大事にするあまり、他の植物を「雑草」とひとくくりにして、退治しようとしています。しかし、いわゆる「雑草」たちにとっては、その場所がもっとも心地良いから育っているのでしょうか。その事実を元に、どうしたらそれぞれが上手に折り合いを付けて生長していけるのか、考えています。

雑草との共生なんて、これまでの「普通の」農業に馴染んで来た人は「えっ」で感じでしょうね。1/11の通電式の日には私(農園主:落合)は、落合農園のテーマは「共生、協力、協働、共学」である、それは「あらゆる生物と」「近隣住民と」「関係諸団体と」「研究者と」の間で展開するものであるという話をさせていただきました。この考えを推し進めると、無農薬、無化学肥料に行き着きます。ある意味冒険です。しかし、なんとかがんばってみたいと日々格闘しています。

●厚木電気の遺構見学会 -その1-

今から108年前の大正元年、厚木電気株式会社が、小鮎川の水力を使って電気を起こしました。創業者は岩崎吉太郎という市内千頭の人です。今でも小鮎川沿いに当時の発電所の遺構が残っています。あつぎ市民発電所とあつぎ環境市民の会の有志、清川村文化財保護委員1名 計7名が、6/14(日)に現地見学会を行いました。講師は、元厚木市文化財保護課長の平本元一さん。厚木電気や岩崎吉太郎さんについて詳しく調べてきた方です。講師の案内で、清川村舟沢地区の取水口、市内飯山地区の発電所跡など貴重な遺構を見ることができました。

私たちあつぎ市民発電所は、同じ小鮎地区下亀井で市内初めてのソーラーシェアリングによる発電を行っています。落合農園は厚木電気の発電所から約3km下流に位置しており、奇しき因縁を感じます。厚木を再生可能エネルギーのモデル地区にできたら、という思いを新たにしました。



左:小鮎川左岸に残る送水管について講師平本さん(右の人)から説明を聞く。送水管は常滑産の瓶を切断してつないだらしい。明治の職人の技術力に感心しました。

右:送水管の写真(春先に撮ったもの)

※次号に続く

●蚊を防ぐ方法(?)

畑にも蚊が出てくる季節となりましたが、私はあまり刺されません。なぜか?最も安価で環境に優しい害虫忌避剤を使っているからです。と言っても、市販の薬ではありません。「アオジソの葉」です。

<やり方>畑に自生しているアオジソの葉を何枚か胸ポケットに入れ、さらに帽子にも挿します。

大体の虫はハーブ系の匂いが苦手だという話を本で読んだので試していますが、さてそれは本当なのか、同様に試して「効果があった」という方、お知らせください。FBで紹介します♥

※「落合農園だより」バックナンバーは、あつぎ市民発電所のHPでもご覧いただけます。